

告示	番号	93	慢性心疾患
	疾病名	慢性肺性心	

慢性肺性心

まんせいはいせいしん

概念・定義

肺の疾患の存在による肺循環の障害によって肺動脈圧の上昇をきたし、右心不全に陥る病態。新生児期の慢性肺疾患、高度の扁桃肥大による気道閉塞、感染性肺疾患、喘息などが関与する。基礎疾患として、低出生体重児の長期人工呼吸管理による慢性肺疾患 bronchopulmonary dysplasia などがあることがある。成人では間質性肺炎、気管支拡張症、長年の喫煙による肺障害などが原因になることがある。治療には循環障害の原因となっている肺の疾患の治療を行う。肺高血圧に対しては、肺血管拡張薬を用いる。右心不全に対しては抗心不全療法をおこなう。

症状

胸痛、呼吸困難、血痰、チアノーゼ、むくみ、息切れ、痰などがある。右心不全の程度により肝腫大、腹水などがみられることがある

治療

治療には循環障害の原因となっている肺の疾患の治療を行う。肺高血圧に対しては、肺血管拡張薬を用いる。右心不全に対しては抗心不全療法をおこなう

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/4_61_85.html